

第93回 渋川摂食嚥下研究会レポート

日時：令和7年4月8日（金）午後7時00分～
会場：渋川ほっとプラザ 4階大会議室

講演 「食事の時の姿勢について

～ポジショニングと介護技術の観点から～

講師 井野整形外科リハビリ内科 介護老人保健施設喜望峰
理学療法士 今井 武志 氏

参加者内訳

職種	参加人数
医師	5
歯科医師	5
保健師・看護師	13
歯科衛生士	3
ST・OT・PT	12
管理栄養士・栄養士	10
ケアマネ	12
介護職員	12
その他	3
合計人数	75

開催案内に書かれた「大きめのタオルと水分を持って、動きやすい服装で参加してください」との言葉。今回の研修は、実技・体験が中心の研修となりました。まず姿勢の基本を学び、（気を付けながら）あえてむせやすい姿勢で水を飲むことで、正しい姿勢の大切さを体感。また、ふだん車椅子に触れることはあっても、意外と座る機会は少ないのではないのでしょうか？研修では、実際に車椅子に座れたので、「高さやサイズの違い」「車椅子シートのたわみ」により、座り心地が全く異なることも体感することができました。

食事動作は、主に上半身で行う動作ですが、全身の姿勢をしっかりと調整することで、食べやすさにつながり、食事が快刺激となること。食事は生命維持に欠かせませんが、不快感なく、安心できる姿勢でおいしく食べるために、私たちがサポートできることを考えていきたいと思いました。

姿勢を見るポイント



- 飲み込みの際に首の前屈位が確保されているか
- 肘をテーブルなどに乗せて上肢で支えられるか
- 座った姿勢は前後左右へ崩れていないか
- 骨盤の捻じれや傾きはないか
- 腹部が圧迫されていないか
- 足の裏がしっかりと床面に接地しているか

【講演資料より抜粋】



バスタオルで姿勢を補助する工夫



姿勢のコントロールを利用した
お互いに負担の少ない支え方



シートのたわみが大きいと、
食べにくい姿勢になってしまいます



クッションがへたっていないか、
定期的なチェックも必要です

【次回 第94回 渋川摂食嚥下研究会の予定】

開催について：6月3日（火）午後7時～／渋川ほっとプラザ 4階 大会議室

演題：「食べない人へのアプローチについて」

講師：① 訪問看護ステーションたいわ渋川

看護師 大前 剛 氏

② GOOD グループ訪問看護ステーション

看護師 依田 弘樹 氏